

越智は 体験を通し、積極的に可能性を求め 21世紀を創造します。

昭和3年、建築材の配送を事業とし深川木場にて創業いたしました。
昭和35年、5トントラッククレーン第1、第2号車両の導入を期に
建築に直接関わる領域の追求がはじまりました。
技術革新により日々新しく開発され、展開されてきた
新建築工法にも常時対応できるクレーン操作技術力・
最新鋭車両の導入・付帯設備開発強化に全力をあげてきました。
特に近年、コンピュータシステムの安全設備強化により
クレーン機能の高性能化・大型化時代に入り、
クレーンによる作業領域を大幅に拡大してきました。
それとともに高度な操作技術を常時維持するためにオペレーターの健康管理
福利厚生とを合わせ積極的に強化してきました。
1984年、都市機能として最も後進的な状態にある物流部門に対応する
都市型倉庫開発に着手しました。
1986年、辰巳本社に第1号の倉庫完成。現在ほか4棟完成。
今日、すでに都市型商業経済の環境を左右するまでに
追いつめられた物流の現状に加え、完成時には霞関ビル
36棟分に相当するビルが建築される東京湾臨海副都心、さらに
千葉幕張新都心などの新都市の完成が近づいています。
越智は、21世紀に向け、新しい発想のもとで
都市型倉庫を計画立案実行していきます。



初代1号 TADANO 5t 油圧クレーン OC-5



「先づ日本に、大規模な建設事業がある。その中で、最も重要な役割を担っているのは、土木建設の現場である。現場には、日本建設の中心となる、重機メーカーの存在が不可欠である。現場には、日本建設の中心となる、重機メーカーの存在が不可欠である。現場には、日本建設の中心となる、重機メーカーの存在が不可欠である。」

1959 国内第1号の5t油圧クレーンの導入

1953 株式会社越智運送店に組織変更

1927 創業



1991 3 バース付倉庫を千葉幕張新都心に用地取得
1990 11 世界最大級の500t油圧クレーンを導入



1990 千葉幕張新都心に倉庫建設



1989 第一号越智物流センター始動
本格的に物流業界に参入

現、最新鋭のDEMAG 500t油圧クレーン

1987 10 300t油圧クレーンの導入

1985 本社移転

1883 6 当時世界最大級の400tクローラークレーンの導入

1982 本社移転

1980 9 当時世界最大級の180t油圧クレーンの導入



本社移転



(昭和3年重量物運搬業として越智運送店を東京都江東区にて創業)